

## 感想及び気づきの前に

原田メソッドの目的「人と組織を自立させ、人、家庭、組織、地域、国、世界を幸せにする」  
原田メソッドの目標「原田メソッドを自ら実践し成果を出し自立型人間を育成する人に成る」

この目的、目標に賛同し原田メソッド認定パートナー養成講座実践マスターコースを受講致しました。

この講座を受ける前に「達成する人の法則」や「目標達成ノート」を購入し読みましたが、なかなかノートを活用するところまで及びませんでした。

ツールがあってもその実践的な使い方をマスターしなければ意味がない。

どうせ学ぶなら開発者の原田先生に教えていただけて、尚且つ自分で習得した後は人に教えられる資格まで与えられる認定パートナー養成講座はどうしても受講したい講座でした。

特に自分は願望実現の方法について興味がありました。

若いころバーテンダーとなり自分の店を持つという夢を持っていましたが夢は叶わず、飲食業から離れ派遣労働者として職を転々とする日々の方が長くなってしまいました。

原田メソッドの紹介を受けた時、一流企業の名前がずらりと並び社内研修に採用されているとのこと。一流企業や心ある経営者の下で働ける従業員は、原田メソッドと言う願望実現法を学べるのに派遣労働者や心無い経営者の下で働かされている人たちは原田メソッドと言う存在も知らずに己の夢や希望を持つことなく金の為、生活の為に嫌々仕事を続けざる負えない状況は正に「富めるものはますます富み、貧しきものはますます貧しくなるのみ」ではないか！

そういった義憤から自分は個人でこの講座を受け、認定パートナーを獲得し派遣労働者や原田メソッドを学ぶ機会に恵まれない方々のなかで向上心を持ちながらも方法論のわからぬ人々に原田メソッドを伝えて行きたいと思っています。

## 感想・気づき

### 1. 原田式長期目的目標設定用紙

良くサンプルで出される松虫中学校の生徒さんの長目を見ても今一ピンと来なかったものです。奉仕活動？ルーティン行動？ルーティン表が別にあるのに？支援者って？成功・失敗の分析？ハッキリ言ってよくわかりませんでした。

しかし、実際に作ってみると目的や目標の明確化と共にそこへ到達する為に心が折れない仕組みづくりがされていることが良くわかりました。

### 2. 理念

6つの質問から導きだされた数々の答えを分類分けして驚いたことがありました。

それは常日頃、自分が気にしていた時間、肉体、仕事、お金の4つに分類出来たことでした。このような理念作りは初めての経験でした。

### 3. オープンウインドウ 64

1つの目的・目標に向けて考えられる手段手法を8個考え出す基礎思考。

更にその8個の基礎思考基に考え出される目的・目標へ達するための実践思考。

意外と開けないもので、要は達成する為の手段方法が考えつかないということは自分の中に無いということで、無ければ在るところから真似てくれば良いという事に気づかされました。

### 4. 日誌

今日必ずやる事から時間帯に→を引く発想にはびっくりしました。

そう、やるべきことはやるべき時間にきちんと実行すれば良い。

ただそれだけのことですが、意外と意識しないとずるずると行ってしまう現実。

日誌には時間を捕まえる意識を持たせてくれたり、自己効力感や自己肯定感を持たせる仕組みや、今日の失敗を反省とはせず、もう一度やり直せるとしたらと心を軽くさせつつも同じ過ちをしない仕組みであったり、成功に達するための知恵の積み重ねだったりいろいろな機能があり、今後も続けて行こうと思います。

### 5. ルーティンチェック表

結局ここが本当に実践されているかどうか成功・不成功の分かれ目。

行動と共に「手に入れたい成果」という目的意識をもって取り組むことに意義があると痛感させられました。

## 6. ストローク実践シート

「量」「質」「種類」があるstrookはマネジメント出来る！

そういった考え方はありませんでした。しかし、意識してstrookをだすと相手の表情や態度も変化していくことみて「量」や「質」や「種類」を意識しつつ今後は多くの方々にstrookを出して行こうと思いました。

## 7. ペアコーチングシート

奉仕活動の重要性の伝え方は大変難しかったです、その辺の質問への導き方の流れはある程度分かって来た様に思えます。

話してもらって質問したり提案したりして、その内に見えて来るものがあったり面白かったです。やはり、その人がどうしたいのかを明確にしてあげること同時にその人のバックグラウンドを可能な限り聴き出すことも願望達成に向けての方法を見つけるためにも必要な事だと感じました。

## 総括

講座を通し原田先生のこれらのシートに込めた目的や活用方法がようやく腑に落ちたと言ったところです。これからは、この原田メソッドを大いに活用し、自分自身の願望実現に向けて頑張っていこうと思います。赤ペン添削は生まれて初めての体験でした。かなり早いペースと多くの学びで一杯一杯に成りながらもなんとか無事に4回の講座をリアルに原田先生の熱意を肌で感じながら受講することが出来ました。これも、多くのスタッフの方々の環境作りが在ってのことと大変感謝しております。原田先生をはじめとしてこの講座に携わった多くのスタッフの方々、また「ミーティングどうぞ」で共に学び合った同期の方々

# 「誠に有難うございました」

2019年4月22日

早川 栄三